

令和4年度 全国学力・学習状況調査の分析結果

令和4年度 全国学力・学習状況調査

主な目的 ・義務教育の機会均等と水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析・検証し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
 ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善などに役立てる。

調査対象 小学6年生、中学3年生

調査内容 **学力調査** 小学校（国語、算数、理科）
 中学校（国語、数学、理科）
学習状況調査 児童生徒アンケート・学校アンケート

〈大阪府教科別正答率〉

校種	教科	大阪府	全国
小学校	国語	64	65.6
	算数	63	63.2
	理科	60	63.3
中学校	国語	67	69.0
	数学	51	51.4
	理科	47	49.3

令和4年4月19日に実施された全国学力・学習状況調査の結果が公表されました。

千早赤阪村の全国学力・学習状況調査の分析結果の概要と課題解決の方法についてお知らせします。

村は小規模校で受験人数が少ないため、本調査により測定できるのは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎないことなどを踏まえて本調査の結果概要をご覧ください。

【学力調査（小学校）】

国語・算数・理科とも、真面目にしっかりと取り組む姿勢がうかがえました。正答率については、大阪府と比べると同等の項目もありますが、いくつかの課題も見られました。

- ・【国語】…「話すこと・聞くこと」は大阪府の平均と同等ですが、「書くこと」については課題が見られました。今後は「条件にそって自分の考えを書くこと」や「文章の構成を工夫して書くこと」を大切にしたい取り組みを進めていきます。
- ・【算数】…これまでの「自分の考えを文章表現すること」や「資料を活用すること」を意識した取り組みの結果、短答式の問題については改善が見られました。今後も継続するとともに、学習の基盤となる算数の基礎・基本の力をしっかりと定着させる取り組みを進めていきます。
- ・【理科】…千早赤阪村の豊かな自然に多く触れる機会もあり、理科に対して意欲的に取り組んでいる児童が多いことがわかりました。今後は「観察・実験結果から考えをまとめること」や「理科の学習用語の確実な定着」を意識した学習を進めていきます。

【学力調査（中学校）】

国語・数学・理科とも、無解答率が低く、どの問題にも粘り強く真面目に取り組む姿勢がうかがえました。正答率は、大阪府と比べても、同等もしくは上回る結果となりました。

- ・【国語】…「書くこと」については、やや課題が見られました。今後は、「自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くこと」や「文章を書く際に指定された条件を意識すること」を大切にしたい取り組みを進めていきます。
- ・【数学】…大阪府および全国の平均を少し上回る結果となりました。証明などの記述式問題にはやや課題が見られたため、今後は「筋道を立てて考えること」や「自分の考えを、根拠を持って説明すること」を大切にしたい取り組みを進めていきます。
- ・【理科】…大阪府および全国の平均を少し上回る結果となりました。今後の課題としては、学習した知識技能を活用して、「実験・観察の結果から考察すること」をさらにのばしていけるように学習を進めていきます。

【学習状況調査（児童生徒アンケート）】

児童・生徒は規則正しい生活を送り、学校生活を真面目に一生懸命に取り組んでいることが結果からもわかりました。しかし、ゲームや動画・SNSの時間が多く、本や新聞を読む機会が少ないことが課題にありました。新しい知識を得て、考える力を育むことにもつながる読書などの活動は、各学校の取り組みとともに、ご家庭でも本や新聞を読む機会を増やしていただくことがより効果的です。